

物質生物科学科2002年目白祭活動報告

今年度は、1, 2, 3年生の目白祭委員を中心にして目白祭に参加しました。有志の方も大勢集まって下さり、とても活気に満ちた活動となりました。化学と生物を共に学ぶことが可能であるという学科の特長を十分に生かせるように、化学系と生物系に分かれて展示を行いました。また、目白祭期間中には多くの方にお越し頂き、おかげさまで学科展示部門の2位を頂戴することができました。

化学系は、私たちの身近な『香り』を中心に展示を行いました。一概に『香り』といいましてもさまざまな種類があります。そこで、香水などに含まれている『香料』に焦点を絞り、あまり化学に馴染みのない来客者の方々にも興味を持ってもらいやすい内容になるよう心がけました。けれども、前年度も香料について取りあげられており、参考にしながらも私たちらしさを追及していくことが困難な作業でした。

今年度の大きなポイントは『香料』を分析化学の方面からアプローチした点です。まず様々な香料に含まれている成分をガスクロマトグラフィーで分析しました。また市販されている香水を分析して、どのような香料が含まれているのかという推測も行いました。これらの測定結果を香料や香水ごとにまとめ、展示しました。さらにガスクロマトグラフィーの機器の説明や分析法の原理についての記述も加えることで、理解しやすくなるよう努めました。

そして前年度に引き続き、来て頂いた方に香水作りの体験をしてもらうコーナーを設けました。用意した香料はすべて分析結果を展示していたため、関連性を持たせることができました。自ら選んだ香料を混ぜ合わせ、持って帰ることができるという楽しみが大勢の方に受け入れられたようで、大盛況となりました。

また、『香料』をより深く理解するために、目白祭期間前に頼資生堂の見学を行いました。香料の開発に携わっている方のお話を伺ったり、調香師の方の職場を見たりすることができ、大変有意義なものとなりました。また展示用として、バラと蘭の系譜やガスクロマトグラフィー質量分析の分析結果が載っているパネルを貸して頂きました。

目白祭に参加するにあたって、多くの先生方や学科の皆さんにご協力して頂き誠に有難うございました。また、頼資生堂にお勤めで本学科OGの古屋理香子先輩、紹介して下さいた大隅正子先生には、見学の件で大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、目白祭に参加してくれた委員と有志の皆さん、本当にお疲れ様でした。

(化学系－加藤裕美)

生物系は今年は実験動植物の展示を行いました。

まず、教室の入り口付近に倒立位相差顕微鏡を置き、ガン細胞を観察できるようにしました。ガン細胞と聞いて驚く人がほとんどでしたが、その意外と可愛らしい(?)姿に魅せられている人も多くいたように思います。顕微鏡の後ろにはもう少し高度な顕微鏡で撮った細胞の写真を飾り、数種類の顕微鏡について調べたことを張り出しました。

顕微鏡と顕微鏡写真を置いた裏には“香りのある植物”のコーナーを設けました。化学系のテーマの“香水”を受けて、人工香料と自然の香りを比べてもらおうと、レモングラス、ペパーミント、和ハッカといった爽やかな香りを持つ植物の展示をしました。ここでは植物の葉の香りを楽しんでいる人の姿が多く見られました。また、貴重なサクラの香水を写真と共に展示することができました。さらに、1日に1～2回、香りの抽出器で実際に夏ミカンの葉から香油の抽出を実演し、訪れた人々を楽しませることができたと思います。

他には教室の角のスペースを使って目白祭期間中、ビデオを上映したり、私達が使っている実験書を置いたりしました。ビデオの内容は植物と動物がテーマで、一般の人にも受けるようなものを選びました。

一貫したテーマを設けずに様々な展示を試みたため、1つ1つを深く調べることができたとは言い難いですが、目白祭スタッフ皆で協力して準備を進めていく過程は楽しく、見に来て下さった方達の評判も良いものでした。思い出に残る楽しい目白祭になったと思います。

目白祭に参加するにあたり、先生方、先輩方に多大なご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
(生物系－泊 美柚子)

